

導入事例

アテナ、物流サービスのビジネス推進基盤として インフォアの倉庫管理システムをAWS上で構築

業務の標準化・自動化やTCOコストの削減を推進

株式会社アテナ（以下アテナ）は、インフォアの倉庫管理システム「Infor WMS」の最新版を導入し、アマゾンウェブサービス（AWS）のクラウド環境上に構築しました。アテナは、繁忙期に約3倍に増加する物流トランザクション対応できる拡張性と、BtoC領域や特定業界の3PL機能の拡張性を備えた、物流サービスの成長を支えるためのDX基盤を構築しています。

導入背景

アテナは「たよりになる会社」を企業理念として、マーケティングや物流、コンタクトセンターを中心としたダイレクトマーケティング分野のアウトソーシング事業を展開しています。1968年の創業以来、お客様のあらゆる「届ける」ニーズに対応すべくビジネスを拡大しており、物流サービスにおいては、東京・大阪・名古屋にのべ1万坪を超える拠点を設け、BtoB領域の販促資材を中心に年間500万を超える荷物を配送しています。

“ お客様のあらゆるニーズにきめ細かく応えるという当社のミッションを達成するには、外部に頼ることなくスピード感を持ってDXを推進する必要があります。業界特化の豊富な機能を備えたInfor WMSをクラウド上で構築したことで、業務の標準化しながらビジネスの成長に繋がる新たな取り組みに注力し、社内にノウハウを蓄積して変革を継続化することができます”

谷口 嘉章氏

株式会社アテナ 執行役員 デジタルBPOサービス部 部長



本社
東京、日本

売上高
165億円（2019年度）

業種
物流・倉庫
印刷・印刷関連

従業員数
800

Infor製品
Infor WMS

Webサイト
<http://www.atena.co.jp/>

同社は現在、IT基盤を拡張性の高いクラウドに移行しつつ、外部に頼ることなく自社内でデジタルトランスフォーメーション（DX）を推進するためのシステムの内製化に取り組んでいます。物流サービスの基盤においては、2009年より、倉庫管理システム（WMS）であるInfor WMSの旧版を利用していましたが、個別カスタマイズを重ねることで肥大化し、処理性能や機能面での拡張性に課題を抱えていました。

そこで同社は、10社を超えるWMSを比較し、今後注力するBtoC領域のDtoC（Direct to Consumer）や特定分野の3PLに必要な機能を含む、業界向けの機能を豊富に備えていることを決め手に、Infor WMSの最新版を採用しました。Infor WMSは、運用・保守費用を抑制しつつ、繁閑の差で大きく変動する物流トランザクションに対応できる拡張性を得るために、新たにAWSのクラウド環境上で構築されました。

導入効果

Infor WMSは、アテナの東京圏3拠点、大阪、名古屋の計5拠点の物流センターにおいて、本稼働を開始しています。AWSの論理的に分離された仮想ネットワークであるAmazon Virtual Private Cloud (Amazon VPC) 上で構築され、オンプレミス環境と仮想ネットワークをAWS Direct Connectによる専用回線で結んでいます。

同社は、Infor WMSをクラウド環境上で構築したことで、月々100万以上発生し、繁忙期には約3倍に増加する物流のトランザクションに対応できるようになりました。また、BtoC領域のDtoCに不可欠な多品目少量出荷に柔軟に対応できるシングルピック機能や、医薬品や食品・飲料といった特定業界の3PLに必要な温度管理やロット管理の機能により、従来システムでは難しかった新規市場への参画を進めています。

さらには、Infor WMSによるデジタル化により物流センターの標準化も実現しており、処理性能の向上やクラウド移行による運用・保守費の低減などとあわせて、労務費およびTCOコストを削減しています。

ビジネス上の成果

- 繁忙期には約3倍に増加する物流トランザクションに対応可能
- 業務手順の標準化が進み、突発事態への対応やリーダーの進捗把握が効率化されている
- 内部チームが主体的に関与し、ノウハウの内製化を実現
- 処理性能の向上やクラウド移行による運用・保守費の低減などとあわせて、労務費およびTCOコストを削減
- 医薬品や食品・飲料といった特定業界の3PLに必要な温度管理やロット管理の機能により、従来システムでは難しかった新規市場への参画が可能に

自社リソースでDX推進を計画

本プロジェクトは、導入段階よりアテナの物流サービスチームが主体的に関与しており、Infor WMSの豊富な機能を活用することで大きなカスタマイズを減らし、外部に委託することのない運用体制を築いています。同社は今後も、RPA（Robotic Process Automation）との連携による自動化や、メーリング事業におけるTC（トランスファーセンター）型資材の管理など、自社主導でInfor WMSを活用したDX推進の取り組みを拡げていく予定です。

詳細はこちら



infor

インフォアは、業界特化型のビジネスアプリケーションをクラウドで提供しています。17,000人の社員が、170か国以上で67,000以上のお客様を支援しています。インフォアのソフトウェアは、お客様の業務の進化に向けたデザインとなっています。